



研究用試薬

ヒストファイン

第一抗体

抗 *bcl-6* モノクローナル抗体 (LN22) (AT 用)

(動物種 : マウス)

包装 : 50 テスト (6.5mL)

Code : AT1818-1

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地 6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

■本品は、自動染色装置ヒストステイナーAT用の試薬 第一抗体である。

■特異性および抗原分布：ヒト *bcl-6* 遺伝子産物と特異的に反応する。*bcl-6* 遺伝子はヒト B 細胞リンパ腫の染色体転座よりクローニングされた遺伝子であり⁽¹⁾⁽⁴⁾、Kruppel-type zinc finger protein をコードし、転写因子として機能を有する⁽⁴⁾。びまん性大細胞リンパ腫の約 30%に、3q27 位での転座が認められている⁽⁴⁾。正常では、主に胚中心 B 細胞の核に反応がみられる。腫瘍では、悪性リンパ腫において濾胞性リンパ腫やバーキットリンパ腫に反応がみられる⁽⁵⁾⁽⁶⁾⁽⁷⁾。びまん性大細胞リンパ腫⁽²⁾⁽³⁾⁽⁴⁾⁽⁵⁾⁽⁸⁾の一部に反応がみられる。

■クローン名：LN22

■抗体のサブクラス：IgG2b

■免疫原：*bcl-6* 分子の N 末端 1-350 アミノ酸から得られたリコンビナントタンパク

■製法：培養上清から精製されている。

1. 内容

第一抗体・・・抗*bcl-6*モノクローナル抗体(LN22)(動物種：マウス)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と 0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1 バイアル中に 6.5mL を含む。

2. 使用目的

組織・細胞中の *bcl-6* 遺伝子産物の染色。

3. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学染色および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

1) 他の試薬とともに試薬ラック(AT用)にセットし、染色を開始する。

2) 染色終了後、すみやかに2-8℃に保存する。

4. 染色方法の設定

試薬の反応温度、反応時間を下記に設定する。

《タイプ：HRP Heat》

| プロトコル名 | Dewax | TR | 温度(℃) | ブロッキング | 試薬名 | 第一抗体 反応時間(分) | 第一抗体 反応温度(℃) |
|----------|-----------|----------|-------|--------|----------|-----------------|-----------------|
| bcl-6-AT | Dewax2-AT | TRpH9-AT | 101 | Buffer | bcl-6-AT | 20 | 25 |

■参考：上述の染色条件で良好な染色が得られない場合は、裏面を参照してください。

5. 貯法および使用上の注意

1. 2-8℃保存。

2. 使用期限はラベルに記載されているので使用前に確認すること。

3. 使用後は速やかに冷蔵保存すること。

4. 異なるロットの試薬や他製品の試薬を混ぜたりしないこと。

6. 取扱上(危険防止)の注意

1. 使用期限の過ぎた試薬は使用しないこと。
2. 本製品に関する安全情報は安全データシートを参照すること。
3. 本品を吸い込んだり、眼、口、皮膚、衣類などへの接触を避けること。
4. 本製品の廃棄の際には、各施設や地域および国のルールに従い、適切に廃棄すること。
5. 本品は、動物由来成分を含むので、取扱に注意が必要である。
6. 本品にはアジ化ナトリウムが含まれている。アジ化ナトリウムは水道管に含まれる銅、鉛との反応によって爆発の危険性があるので、多量の水とともに洗い流すこと。
7. ヒト由来の検体は、感染の恐れがあるので適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

7. 参考文献

- (1) Lo Coco F, et al. Rearrangements of the BCL6 gene in diffuse large cell non-Hodgkin's lymphoma. Blood. 1994 Apr 1;83(7):1757-9.
- (2) Pescarmona E, et al. Analysis of the BCL-6 gene configuration in diffuse B-cell non-Hodgkin's lymphomas and Hodgkin's disease. J Pathol. 1995 Sep;177(1):21-5.
- (3) Otsuki T, et al. Analysis of LAZ3 (BCL-6) status in B-cell non-Hodgkin's lymphomas: results of rearrangement and gene expression studies and a mutational analysis of coding region sequences. Blood. 1995 May 15;85(10):2877-84.
- (4) Flenghi L, et al. Monoclonal antibodies PG-B6a and PG-B6p recognize, respectively, a highly conserved and a formol-resistant epitope on the human BCL-6 protein amino-terminal region. Am J Pathol. 1996 May;148(5):1543-55.
- (5) Yang B, et al. Clinicopathologic reassessment of primary cutaneous B-cell lymphomas with immunophenotypic and molecular genetic characterization. Am J Surg Pathol. 2000 May;24(5):694-702.
- (6) Dunphy CH, et al. Paraffin immunoreactivity of CD10, CDw75, and Bcl-6 in follicle center cell lymphoma. Leuk Lymphoma. 2001 May;41(5-6):585-92.
- (7) Fernández-Vázquez A, et al. Primary cutaneous large B-cell lymphoma: the relation between morphology, clinical presentation, immunohistochemical markers, and survival. Am J Surg Pathol. 2001 Mar;25(3):307-15.
- (8) Hans CP, et al. Confirmation of the molecular classification of diffuse large B-cell lymphoma by immunohistochemistry using a tissue microarray. Blood. 2004 Jan 1;103(1):275-82.

■ 研究用としてのみ使用すること。

■ 参考：組織の固定状況等により、下記のいずれかまたは複数の染色条件を変更することで、良好な染色が得られる場合がある。

ただし、組織へのダメージや偽陽性化、偽陰性化が起こるおそれがあるため、研究者自身の責任において至適条件をよく検討すること。

■ 染色強度をより強くしたい場合

- ・抗原賦活化の「TR」を TRpH9-AT から TRtypeN-AT に変更する。
(TR-pH9(AT用)(Code : AT1534-1)の代わりに TR-typeN(AT用)(Code : AT1539-1)を用いる。)
- ・抗原賦活化の「温度(°C)」を 101°C から 103°C へ上げる。
- ・「第一抗体反応時間(分)」を 20 分から 30 分へ延長する。
- ・「第一抗体反応温度(°C)」を 25°C から 37°C へ上げる。
- ・抗原賦活化の処理時間を長くする。
注：「TR」の試薬が、スライド 1 枚の染色に対して 2 テスト分必要になります。
(《タイプ：HRP Heat》の代わりに《タイプ：Special》に登録する。弊社にて登録、設定を行いますのでご連絡ください。)

■ 染色強度をより弱くしたい場合

- ・抗原賦活化の「TR」を TRpH9-AT から TRpH6-AT に変更する。
(TR-pH9(AT用)(Code : AT1534-1)の代わりに TR-pH6(AT用)(Code : AT1535-1)を用いる。)
- ・抗原賦活化の「温度(°C)」を 101°C から 96°C へ下げる。

■ 内因性ペルオキシダーゼに起因するバックグラウンド染色がみられる場合

- ・「ブロッキング」を Buffer から H2O2-AT に変更する。
(過酸化水素水(AT用)(Code : AT1524-1)を用いる。)